木童通信 vol.55

平成27年2月発行

木童　東京ショールーム
open 月～金 10：00-18：00　土 11：00-17：00
close 日・祝(事前予約いただければ日祝の見学も可能です)

東京都新宿区西新宿 3-20-2　東京オペラシティ 1F
TEL:03-5358-5125　FAX:03-5358-5126
URL:http://www.kodoh.co.jp

木童　神戸事務所　兵庫県神戸市北区大沢町簾 437
TEL:078-954-0072　FAX:078-954-0257
E-mail:muku@kodoh.co.jp

★木に塗装をする話

木が劣化するのを出来るだけ食い止めるために塗装します。漆などに代表される木に塗る塗料を『木材保護塗料』と言います。また、塗装することはデザインや好みに合わせた色を付けるという意味合いもあります。

【床材に塗装】

木の床材を購入した場合、ほとんどの床材は工場でウレタン塗装をしたものです。ウレタン塗装等の塗膜を形成するものは表面硬度が上がり、キズが付きにくく施工業者も扱いやすく好まれます。艶なども自由にプラスすることが出来ますが、キズが付いてしまった場合のメンテナンスが大変です。また、無垢材の場合は調湿機能という木材の最大のメリットを損なってしまいますので、木童では無塗装の床材にオイル塗装することをお勧めしています。オイル塗装の欠点は“表面を硬くしない”事と“メンテナンスが必要”という事です。言い換えればメンテナンスが出来るからお薦めでもあるという事です。ただ、面積を稼げる部分での調湿機能が期待できる点は無垢の床材にした甲斐があるというものです。

オイル塗料では何を選べば良いかと質問を受けますが、実はほとんどの製品の性能にあまり大きな差はないのです。ですから、選ぶポイントとして◎嫌な匂いのしない物◎滑ったりしない安全な物の2点でしょうか。ワックスのように素人でも塗れますので、自宅をご自身で塗装するのもお勧めです。

【外壁・デッキに塗装】

外部での塗装は色々と制約があります。まず乾燥材であること、作業小屋で塗装するにしても晴れた日にしなければなりません。また、木が重なる部分はあらかじめ塗装しておく必要があります。また、木材の天敵、紫外線から保護するために着色が基本になります。特にデッキ材は雨も受け皿のように受けてしまいますし紫外線も真正面で受けてしまいます。通常木の外壁では2～3年後に再塗装が望ましいのですが、デッキの場合は半年で再塗装の時期が訪れます。ここでは、どの塗料も同じというわけにいきません。オイル塗料・水性塗料・撥水塗料と選択肢があります。選ぶ樹種とその表面仕上げによって塗料も変わるかもしれません。建築家や工務店さんに相談をして選んでください。

★木をメンテナンスする話

●床：適時再塗装が基本です。やはりキッチンが一番早いかもしれません。簡単な汚れはスチールウールに塗料をつけ擦るときれいになります。木童のショールームの床は10年以上メンテナンスなしですので、興味がある方は見に来てください。

●水の当る木部：カビの場合はサンドペーパー→薬品で落とします。放置していると根を張って落ちにくくなりますのでお早めに。白けてしまいますが、暫くすると戻ります。その後、再塗装をします。

●デッキ：色落ちが目立ってきたらデッキブラシなどで洗い、乾燥後再塗装します。笠木（手すり）は夕ワシでこすります。

●外壁：2～3年後（次回は更に4～6年後）に表面の傷みをブラシ等で落し、再塗装します。塗料は木が痩せているので当初より2倍以上かかる場合があります。足場が必要になる高所作業の場合もありますので、プロに相談するのも良いと思います。

★家づくり現場レポ①　　設計：植本計画デザイン

一昨年木童東京ショールームにご相談に来られたN邸が完成いたしました。木童にたどり着くまで数名の建築家等にも相談されてきたのですが、なかなか”これだ”という人と出会えなかったそうです。

平屋がお望みのNさんに、竣工したばかりの植本さん設計の平屋をご案内したところ、うまく心を掴んだようでした。住まい手さんの話や植本さんの話を聞いて決断されたのです。

構造材には宮崎の赤オビ杉、床材には北海道の120巾のナラ、天井にはリブ加工した熊本の杉や岩手の杉、デッキには岩手の南部くり、外壁には徳島の焼杉の荒磨きに木童の超・撥水を塗装しています。以前、見学させて貰った平屋の家と同じく回廊式にぐるりと回れ、中庭があったりと、趣を凝らしたつくりとなっており光の取り方や空間の取り方がとても素晴らしい家でした。

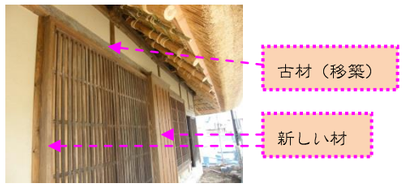
Nさんご夫妻も始終ニコニコ、満足されている様子で、とても良いご縁となりました。

★家づくり現場レポ②　　設計：いるか設計集団

高速道路の新設に伴い、移転を余儀なくされた0邸。小さな茅葺屋根のお家は、実は神戸市重要文化財の第1号で、ご主人の思い入れもたっぷりあり、取り壊すのではなく移築してほしいとのご希望でした。そこで移築部分に続けて、現代的な機能を持つ住居部分を新たに増築する計画となりました。木童からは木材の調達はもちろんのこと、古民家の工事ができる工務店を紹介させていただきました。

面積は新築棟の方が倍ほど大きいのですが、工事は茅葺棟の方が数倍の手間がかかりました。茅葺棟の方にはいつもたくさんの職人さんが入っていましたが、なかなか進まずに、昨年9月の上棟以来5ヶ月を経てようやく竣工の目処が立ったところです。新築棟だけなら、あと1ヶ月は早く終わっていたような気がしますが…。

この現場は神戸事務所から近かったこともあり、工事中にも何度も立ち寄って職人さんの仕事を見せてもらいました。技術的なことだけでなく、文化を引き継いでゆくということの重みも感じ大変勉強になった現場です。



※真撮影時まだ残工事中で内装の写真が撮れませんでしたが、床には南波から松を貼ってもらっています。

★猫好きにはたまらない“つみねこ”

新作の木製品が入荷しました。その名も“つみねこ”。
スマートフォンアプリで数年前にヒットしたゲームの実物版です。
6匹の猫を積み重ねていくゲーム&パズルですが難易度は・・・？
意外と時間を忘れて積んでしまいます(笑)。
ちょっとお高いですがインテリアを兼ねた暇つぶしとしていかがですか。

樹種：ブナ　製作地：北海道
価格：4,320円

KODOH NEWS

企画展のご案内　［木童オペラシティショールーム内］

■第184回企画展　2/9(月)～21(土)　「楽しい建築展」
　グローバルアーキテクツエイド

■第185回企画展　2/23(月)～/28(土)　「建築家と創るシンプルな木と漆喰の家」　NPO法人木の家だいすきの会
　アーキネットデザイン　市川均　「シンプルだからローコスト　1.5F建て住宅の実践」

■第186回企画展　3/23(月)～28(土)　NPO法人木の家だいすきの会
　アトリエヌック

※木童通信をHPよりダウンロード出来ます。バックナンバーをご希望の方はこちらをご利用下さい。